

見守り隊・更生保護女性会の皆様へ 笑顔と安全を支える見守り活動



新しく赴任しました辰口中央小学校長の中西嘉久です。日頃より、児童の安全な登下校のためにご尽力いたしております。見守り隊、更生保護女性会の皆様へ、心より感謝申し上げます。皆様の温かい眼差しと、登校時・下校時の交通安全見守り、そして、何より児童一人ひとりへの丁寧な挨拶や声かけは、私たち教職員にとって、また、保護者の皆様にとっても、安心できる学校生活を送る上でかけがえのない支えとなっています。

特に、朝夕の忙しい時間帯に、通学路の要所で、また付き添いながら見守り活動をしていた大切なことは、子供たちを危険から守る上で非常に重要な役割を果たしています。皆様の存在は、地域における防犯意識を高め、実際に不審者の情報が減少したという報告もあり、その効果は計り知れません。

校長 中西 嘉久



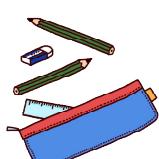
ん。厳しい寒さの日も、雨の日も、毎日欠かさず子供たちのために活動してください。見守り隊の皆様の熱意には、頭が下がる思いです。

見守り活動は、単に子供たちの安全を守るだけでなく、子供たちと地域の方々との温かい交流を生み出す素晴らしい機会にもなっています。見守り隊の皆様からのおはよう」「おかえり」の声かけに、子供たちが笑顔で応える様子を見るたびに心が温まります。挨拶は、コミュニケーションの第一歩であり、お互いを認め合い、良好な人間関係を築く上で非常に大切です。皆様と子供たちとの間での自然な挨拶のやり取りは、子供たちの社会性を育む上でも大きな影響を与えてくださっています。

子供たちは、私たち地域の宝です。その大切な宝である子供たちが、安全に学校へ通い、健やかに成長していくためには、学校、家庭、そして地域の皆様の連携が不可欠です。見守り隊の皆様は、まさにその地域における要として、子供たちの成長を温かく見守っています。そして、多くの見守り隊員が感じていらっしゃるよう、子供たちの笑顔や元気な挨拶は、見守つてくださる皆様にとっても大きな喜びやエネルギーになっています。子供たちの純粹な力は、私たち大人の心を癒し、明日への活力を与えてくれます。本校では、子供たちが地域の方々、そのエネルギーになっていることだと思います。子供たちの純粹な力は、私たち大人の心を癒し、明日への活力を与えてくれます。見守つてくださる皆様に感謝の気持ちを持ち、大きな声で挨拶ができるようになります。挨拶は、相手への敬意を表すとともに、自らの心を開く大切な行為としています。挨拶は、地域社会とのつながりを深め、感謝の気持ちを育んでいくれるよう、学校としても積極的に取り組んでまいります。

皆様の温かいご支援が、子供たちの笑顔と安全な学校生活を支えています。

辰口中央小学校見守り隊
能美市辰口町735番地
0761-51-2009
R7-1



【きょうも元気に】

その後どうなった？ 横断歩道での車の一時停止率

法令順守!!歩行者にやさしいのはどこの人

令和4年度第2号の「見守り隊かわら版」で、信号機のない横断歩道で歩行者が横断しようとしているとき、横断しているときの、車の一時停止の割合を調べた結果を掲載しました。

下の表がそのときのものです。もとも停止率の高かったのが長野県で7割以上。ドライバーが停止しています。全国平均は2割程度と法令を順守しないドライバーの姿が見えてきます。石川県は全国5位と成績優秀？ですが、それでも停止するドライバーは3人に1人でした。

さて、その後停止率はどうなったのでしょうか。

信号機のない横断歩道における歩行者横断時の車の一時停止率

1	長野県	71.2%
2	静岡県	52.5%
3	島根県	39.0%
4	兵庫県	38.6%
5	石川県	34.2%
5	新潟県	34.2%
43	和歌山県	11.2%
43	徳島県	11.2%
45	岡山県	10.4%
46	青森県	8.4%
47	東京都	6.7%
全国平均		19.4%

2018～2021年平均・JAF調べ

1	長野県	84.8%
2	熊本県	66.1%
3	岐阜県	65.9%
4	静岡県	64.5%
5	石川県	64.4%
42	福井県	31.0%
42	沖縄県	31.0%
44	佐賀県	30.4%
45	茨城県	29.7%
46	和歌山県	29.6%
47	北海道	29.4%
全国平均		53.0%

2022～2024年平均・JAF調べ

長野県の停止率は今回も全国1位です。石川県は3人のうち2人は停止、全国5位と順位は変わりませんが、大幅に改善された調査結果がでています。全国平均も数年前の2割程度から5割を超えるドライバーが停止するという結果になっています。警察をはじめとした関係機関のみなさんのご努力やドライバーの意識の高まりの成果でしょう。



*横断歩道で立ち止まつたり、走り出したりなど子どもたちは予想しない動きをすることがあります。動転を心がけましょう。横断者を認めたら余裕をもって停止できる運転義務です。歩行者保護は、マナーではなく、ドライバーの義務です。